

打撲

・打撲とは？

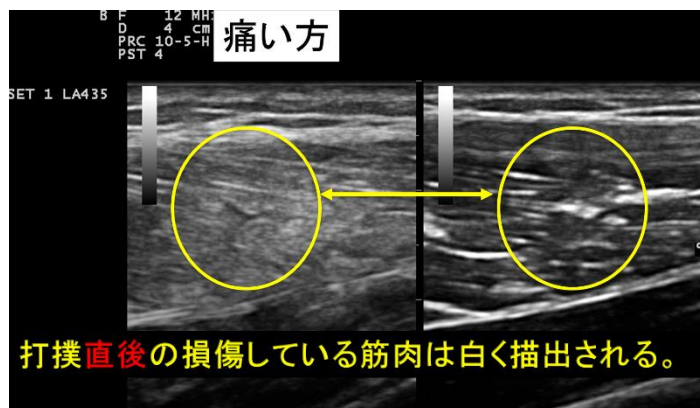
打撲とは、体外からの力により傷口を伴わない軟部組織損傷をいいます。主に損傷するのは皮下組織と筋肉です。特にスポーツの現場でよく遭遇します。今回は打撲の症状や治療方法について説明していきます。

・どうやって発生する？ どういう症状になる？

ラグビー・サッカー・ハンドボールなどのコンタクトスポーツで遭遇することが多いです。相手の膝が自分の大腿部を直撃するなど「相手とぶつかる」ことで発生します。多くは大腿部で発生し、損傷が著名な場合は痛みで歩行が困難になることもあります。患部は腫れ、関節可動域にも制限が起こります。

・どうやって打撲って評価するの？

若田接骨院では超音波観察装置（Xario 200 | 超音波観察装置 | キヤノンメディカルシステムズ）を用いて詳細に患部を観察しております。細かな筋損傷も見逃すことはありません。レントゲンは骨しか写し出しませんが、超音波観察装置では生体内すべての組織を映し出すので打撲損傷による筋損傷を正確に評価することができます。



・治療はどうやって行うの？

筋損傷の治療で大切なことは『患部を圧迫』することです

筋損傷専門のサポーターで患部を強く圧迫します。そうすることで損傷部位への刺激を軽減させ、早期の運動復帰を可能にします。

さらに損傷部位の治癒促進を目的に低出力超音波パルス療法（Low intensity pulsed ultrasound）を行います。

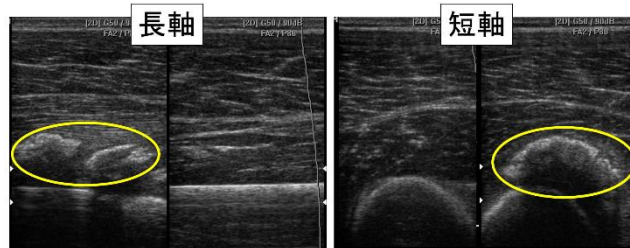
低出力超音波パルス療法は治療条件を整えば、治癒までの期間が約 40%短縮される優れた治療方法となっております。

どれくらいの期間で治療が終わるの？

約 2～6 週で治療が終わります。

筋打撲の治療はとても繊細で治療手順や運動復帰の時期を間違えると「外傷性骨化性筋炎」になってしまいます。外傷性骨化性筋炎になってしまうと、運動復帰までさらに期間を要します。「たかが打撲、されど打撲」です。

外傷性骨化性筋炎



黄色の丸の中にある白い物質は異物である。
こうならないよう適切な処置が求められる。



「たかが打撲、されど打撲」です。打撲は治療ノウハウのある医療機関への受診をお勧めします。

若田接骨院では自信を持って打撲の治療に取り組んでおります。打撲でお困りの方は、ぜひ若田接骨院へお越しくださいませ。